

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	学校長会へ趣旨説明と協力依頼、各LCへ協力依頼、各学校へ議員選出及び質問項目の調整依頼、答弁書のとりまとめ、子ども議会議長との打ち合	学校長会へ趣旨説明と協力依頼、各LCへ協力依頼、各学校へ議員選出及び質問項目の調整依頼、答弁書のとりまとめ、子ども議会議長との打ち合	学校長会へ趣旨説明と協力依頼、各LCへ協力依頼、各学校へ議員選出及び質問項目の調整依頼、答弁書のとりまとめ、子ども議会議長との打ち合

事務事業名	子ども議会開催事業	事務事業No.	20101001012	所属課	学校教育課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
・ライオンズクラブの事業として、合併前より各町村で行っていたが、合併後においては平成20年度から再開された。合併当初は中学生が対象であったが、平成26年度は、児童生徒が対象、平成27年度からは児童のみが対象となっている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
・市民からは特になし。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	☒ 結びついている ・児童を対象として、議会や行政の仕組みについて学ぶことは、学校教育の充実教育内容の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	☒ 妥当である ・児童に、住んでいるまちを知ってもらうことは、市が行うこと目的として妥当である。
有 効 性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	☒ 向上余地がない ・児童数や回数を増やすことで、体験者を増やせることはできるが、時間等に制限があるので難しい。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	☒ 影響有 ・体験者が毎年増えることで、議会や行政に興味を持ってもらえる人が増えることから、廃止することは影響があるかもしれない。
効 率 性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性ありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	☒ 余地がない ・類似する事業が見当たらない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	☒ 削減余地がない ・事業費の支出は特になく、ライオンズクラブの協力を得ている。
公 平 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	☒ 公正・公平である ・市内のすべての学校が対象であるので特に偏ってはいない。負担金もない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																		
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇒	・時期として夏休み期間であり小学生には最良であると思われる。中学生においては、部活動や受験勉強に影響が出ることから、今後も参加は難しい。令和2年度から令和4年度はコロナ禍を考慮し未開催。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																		
☐ 終了 ■ 継続 ☐ 改革改善を行う → (複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 現状維持		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成 果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成 果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成 果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 ④																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価 A A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出		確認欄 確認	